

川崎市立川崎病院

令和7年度第4回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 令和8年2月24日（火）13時30分～13時50分

2 開催場所 川崎病院7階講堂

3 出席者

(1) 委員

古川 智洋（委員長）	川崎区医師会会長
大塚 宏之（副委員長）	川崎市医師会理事
佐々木 孝幸	川崎区歯科医師会会長
浅見 真吾	川崎区薬剤師会会長
小林 英之	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
八木 美智子	川崎市看護協会常務理事
岡田 昇	川崎区町内会連合会
工藤 芳樹	川崎市健康福祉局保健医療政策部担当部長
若尾 勇	川崎区役所地域みまもり支援センター副所長
立花 将一	川崎市消防局川崎消防署長代理副署長

(2) 川崎病院

野崎 博之	病院長
原 智	副院長兼患者総合サポートセンター所長
藤原 実香	副院長兼看護部長
上野 浩一	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
小林 加寿夫	薬剤部長
松本 浩二	放射線技術科長
瀬川 裕	事務局長
伊藤 猛	事務局庶務課長
酒井 俊明	事務局医事課長
高橋 智常	患者総合サポートセンター副所長
舘山 奈緒子	患者総合サポートセンター担当課長
藤平 高志	患者総合サポートセンター担当課長

4 資料

資料1	紹介率・逆紹介率について
資料2	緊急受診・転院依頼応需状況について
資料3	医療機器共同利用予約受付件数について
資料4	P E T - C T 運用実績について
資料5	地域の医療従事者を対象とした研修について

資料6 連携登録医の登録状況等について

資料7 令和8年度の開催日程について

資料8 次期委員の推薦等について

その他資料

前回運営委員会会議録

地域医療連携便り Vol. 49

5 議 事

(1) 開 会 (司会進行 高橋患者総合サポートセンター副所長 (2) まで)
司会挨拶

- ・会議公開の確認
- ・委員全員の同意により公開。傍聴希望者なし。

(2) 病院長あいさつ
(野崎病院長)

病院長の野崎でございます。お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。今年、診療報酬改定があるということで、もともとこういうある程度以上の大きな病院については、特殊な例外を除いては、長期に処方してはいけない、30日を超える処方をしてはいけないという決まりが実はあるのですが、それは、なるべくかかりつけの先生のところへお返しするように、困っている患者さんを地域で見るようにということがスタートでした。今回の改定では、よりその色が濃くなってしまっていて、地域の拠点病院は地域の拠点病院、それからそうでないところでは、できるだけかかりつけに返しなさいという、多分診療報酬改定のメッセージではないかと思えます。そうした中で、地域の拠点病院としての役割分担というところが求められるわけですが、そういう中では、地域との話し合いであるとか、あるいは病院間での話し合いもかなり重要視されております。従いまして、この運営委員会におかれましては、皆様方の意見を我々も取り入れて、より地域医療に貢献できるようにやっていくために、非常に重要な会議となっておりますので、本日お集まりいただいた皆様でご議論いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

(古川委員長による進行)

(3) 議事録署名人選出

川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要なため、委員会開催の都度、委員長が指名。古川委員長が小林由紀子委員を指名し、小林委員の承諾により議事録署名人となる。

(4) 議 題

議題1 紹介率・逆紹介率について

(原副院長)

- ・お手元の資料1をご覧ください。紹介率逆紹介率についてです。上段が令

和7年度3四半期、4月から12月までの紹介患者さんの数、逆紹介患者の数、初診患者の数になります。紹介患者数に関しましては、合計で9,306人、月平均で1,034人ということで、昨年度から月平均、おかげさまで1,000人を超える状況を維持しているという状況になります。次の逆紹介に関しましては、合計で13,482名。月平均で1,498名ということで、病院としましても、状態が安定した患者さんにおきましては、地域の医療機関の先生方にまた引き続きフォローしていただくということで、今後も積極的に進めてまいりたいと考えております。初診患者の数が11,469人、紹介率が81.1%、逆紹介率が117.5%ということで、下段に書いております地域医療支援病院の承認要件のイの条件、紹介率65%以上かつ逆紹介率が40%以上ということを満たしていることが多かったのですが、前回から紹介率だけでも80%なんか超えているということで、いずれにしましても、地域医療支援病院の承認条件というところを満たしているというような状況になります。以上になります。

議題2 緊急受診・転院（転入）応需状況について

（原副院長）

- ・資料2をご覧ください。緊急受診・転院転入依頼応需状況になります。左側が当日の緊急受診の応需状況になりますが、10月までのところは、応需件数が毎月100件を超える件数を応需できていたのですが、11月、12月となかなかベッドが厳しい状況が続いておりまして、応需率も60%台ということで、なかなか応需が厳しい状況にございました。3四半期、4月から12月までの平均で見ますと、応需率が70.7%で、応需できた患者さんのうち実際入院が必要になった患者さんが51.3%ということになります。転院転入に関しましては、100%で対応させていただいているというような状況になります。以上になります。

（古川委員長）

- ・追加で何かございませんか。

（原副院長）

- ・インフルエンザ等の影響で対応が難しい状況にあったのですが、地域医療支援病院の機能を果たすべく対応できるように努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

議題3 医療機器共同利用予約受付件数について

（藤平担当課長）

- ・資料の3をご覧ください。上段の表、令和7年度の4月から12月までの医療機器共同利用予約受付件数でございます。11の検査項目等に対し上段の表の右下に記載があるとおり合計で503件の予約受付がございました。7月から9月は180件、10月から12月は173件でございまして、3件の減少でございました。下段には、令和2年度から令和6年度の受付件数が記載されておりますが、その5年間の平均件数は794.4件となっております。説明は以上でございます。

議題4 PET-CT運用実績について

(松本科長)

- ・資料4となります。PET-CTの運用実績です。12月が全体で101件、そのうち院内が70件で院外からの紹介が31件となっております。説明は以上です。

(古川委員長)

- ・特に目標とかそういうのではないのでしょうか。順調に推移されているという理解でよろしいですか。

(松本科長)

- ・目標は全体の月平均で93件となっております。がん拠点を取りましたので、紹介率の件数を大きく伸ばさなければいけないということが今はなくなったので、その目標は今立てておりません。以上です。

議題5 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤平担当課長)

- ・資料5をご覧ください。令和7年度の地域の医療従事者を対象とした研修でございますが、記載のあるとおり6回実施しており、計327名の受講者ございました。

看護師向けにつきましては、館山課長より説明いたします。

(館山担当課長)

- ・引き続き、地域の医療従事者を対象とした研修の看護師の方をご報告させていただきます。資料5の裏面からご覧ください。こちらの一覧表ですが、出張講座14回、地域ケア懇談会を2回、合計16回の研修を開催いたしました。受講者数に関しましては、空欄のところもございますが、現在、16番目の2月18日の出張講座以外のところは、受講者数を把握しております。合計で444名の方にご受講いただきました。引き続き、また来年度も開催してまいりたいと思います。報告は以上になります。

議題6 連携登録医の登録状況等について

(藤平担当課長)

- ・資料6をご覧ください。連携登録医療機関の登録状況について、令和8年1月1日現在で前回より1件増えまして、620の医療機関等に御登録をいただいているところです。ページをおめくりください。増減の内訳ですが、医科は新規が7件、閉院し登録を削除したクリニックが5件ございました。歯科では新規が0件、閉院し登録を削除したクリニックが1件ございました。説明は以上でございます。

(古川委員長)

- ・新規のアイシークリニックというのは、これはどういうことになりますか。

(藤平担当課長)

- ・皮膚科、形成外科等を行っているところで、赤ら顔とか、そういうところも行っているクリニックになっております。

(古川委員長)

- ・美容系のクリニックに近いですかね。

(藤平担当課長)

- ・はい

(古川委員長)

- ・それが大宮からずっと全部登録。

(藤平担当課長)

- ・同一の形態だということなので、こちらで認めさせていただきました。

(古川委員長)

- ・認めても認めなくても別に何の問題もないですね。基本的には登録年会費が発生することはないですね。で、これ数が増えると川崎病院的には何かメリットはあるのですか。連携を取らなければいけない医療機関が何院以上というのはあるのですか。

(藤平担当課長)

- ・何院以上ということとはございませんが、東京近辺にお勤めいただいて、そこから帰って来るということもありますので、その患者さんも受け止められればということで、受けさせていただきました。以上です。

(古川委員長)

- ・受け入れする側には何か条件とか審査とかあるのですか野崎先生。

(野崎病院長)

- ・特に大きな審査はないです。よほど問題がない限りは認めることになると思いますね。いずれにしても、当院に紹介していただける確率を上げることが、多分一番大きな目的で、どうしても季節性で呼吸器感染症が増えると、初診に占める非紹介患者の割合が増えますので、紹介患者を常に増やしていくためには、連携登録を増やしていった方がいいだろう、並びに逆紹介にも使えるだろうということでございます。

議題7 令和8年度の開催日程について

(藤平担当課長)

- ・資料7を御覧ください。本委員会は年4回開催することになっておりまして、1回目を5/26、2回目を8/25、3回目を11/17、4回目を2/9に開催を予定しております。いずれも火曜日の開催としております。本日と同じ13時30分からこの場所での開催を予定しておりますので、よろしく申し上げます。説明は以上です。

議題8 次期委員の推薦等について

(藤平担当課長)

- ・資料8を御覧ください。本委員会要綱の抜粋を記載しておりますがその規定により、現在の委員の皆様は、本年3月にて任期が満了となります。つきましては、資料に記載があるとおり、3月に入りましたら、関係団体等に次の委員の推薦をお願いしたいと思いますので、あらかじめご承知おき戴ければと思います。説明は以上です。

(5) その他

(藤平担当課長)

- ・お手元に前回の会議録と地域医療連携便りを配布しておりますので、後ほど御確認ください。説明は以上です。

(司会を事務局へ返す。)

(6) 閉 会

(原副院長)

- ・本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございました。この会の冒頭に野崎病院長先生からもお話がありまして、診療報酬改定がありまして、また今後の川崎病院、地域医療支援病院としてやっていくうえで、いろいろなところが影響出てくるかと思えます。一つひとつ、その内容を噛み砕いて飲み込んで、地域の皆様に医療貢献できるように努めてまいりたいと思えますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

以上